

平成 22 年度 学校評価（自己評価）

I. はじめに

学校における最も重要な項目は、**園児の育ち**と、その為には**先生の資質の向上**にあると考える。それ故、平成 20 年度は、大きくはその 2 点に絞り、学校評価を行った。昨 21 年度は、**全保護者にアンケートを実施**し、その結果を基に学校評価を行った。本 22 年度は、今まで取り上げることの出来なかった項目を中心に、学校評価を行う。主として、保健衛生面・園児の基礎体力の養成・安全対策 等の項目についてである。

II. 本園の教育目標の確認

優しく そして たくましく （健やかに 豊かに 賢く）

「ここは一発やるぞ！！」という強い精神力と共に、優しい心を育てたい。

- 知識の伝達のみでなく、次の世代に日本の文化を伝え人間としての心を育てたい。

具体的には、次のような人間としての骨太な面を育てたく思っています。

- ・ 基本的な生活習慣を身につける
- ・ 「ありがとうございます」「おはようございます」などの挨拶がスーッと出る
- ・ お年寄りや小さい子に、ごく自然に優しく接することが出来る
- ・ 周りの人と会話ができ、大勢の中でも自分の意見を発表できる
- ・ やる気満々である
- ・ 我慢することができ、物事に対する耐性がある
- ・ 「やる時はやる 遊ぶ時は遊ぶ」などのけじめ・切り替えが出来る
- ・ 静と動、善と悪のけじめをつけることが出来る

- 個々の領域の目標については省略する。

III. 評価項目と 取り組み状況・達成度などの評価

評価項目

取り組み状況や達成度などの評価

①園児の健康管理

- ・ 学年当初の園医による健康診断
内科・眼科・側彎症など整形外科・歯科
- ・ 視力の測定（年長児）
- ・ 尿・蟻虫検査
- ・ 体重（年 5 回）、身長（年 2 回）、座高 等の測定 を実施している
- ・ 食物アレルギーの園児の給食には、万全の備えで対応している
- ・ 園児の健康状態によって、それに適した運動を課している
今年の例：喘息の症状が非常に厳しい園児が、末広公園での持久走など、適正な負荷をかける運動によってめざましく改善し、まもなく薬が必要でなくなるだろうという嬉しい報告もあった。
学校保健安全法に基づき、適正に実施されたと認識している。

②教職員の健康管理

結核健康診断をはじめとして、学校保健安全法に基づき健康管理を適正に実施された。

③全教室・遊戯室に 空気清浄機を設置

平成 21 年の新型インフルエンザの発生に際し、ダイキンの空気清浄機を設置した。
泉佐野市や近隣の市町村で学校閉鎖学級閉鎖が続発する中、当園ではそれほどの流行に至らなかった。
また本 22 年度においても、従来のインフルエンザの流行による学級閉鎖などが報じられたが、本園ではごく少数の発生者であった。
ただこの状況が、空気清浄機を設置したことによって生じたのか、それとも日頃の運動などによって体が強くなり心拍機能等が向上していることに起因するのかは、明白ではない。

④基礎体力の向上に関して 園庭でのサーキット運動 末広公園での持久走 などを実施

- 年少さんでは、とにかく体を動かす。芝生の運動場で先生やお友達と追いかっこをして、ダッシュ・休憩・ダッシュ・休憩など、緩急をつけた遊びを多くする。
自分の足でかなりの距離を歩く。
20m 程度の距離を、全力でまっすぐ走る。
- 年中さんは、園庭で 20 分程度のサーキット運動を行う。緩急をつけた運動によって、敏捷性が養われる。
30m 程度の距離を、全力でまっすぐ走り抜く。
- 年長さんでは、末広公園での持久走が始まる。
全員一律ではなくて、個々の体力に応じて走る距離が変わる。
学年末ともなると、全員が 4～8 Km を余裕を持って走るようになる。
今年も 8Km 最後の 667m を 3 分 10 秒で走り抜く園児もいた。
しかし最も嬉しいのは、年度当初に走るのが苦手な子が、この 1 年で 4, 5 Km を平気で楽しんで走るようになることである。
また喘息や肺・心臓に疾患がある園児については、先生が横について一緒に適度なペースで歩く。
①で述べたが、適度な負荷をかけた運動によって症状が劇的に改善された事例が、今年も数件報告された。とても嬉しいことである。
また年長では、50m を全力で走り抜ける体力が育つ。
今年 2 月の 50m では、8 秒 63 のタイムを出した園児もいたが、特筆すべき事は、6 月に 15 秒程度のタイムであった園児が 8 ヶ月後の 2 月の測定では、11 秒台もしくは 12 秒台と大幅に伸びていることである。
- 以上のように、遊びや運動を楽しみながら課すことにより、全学年とも大幅な体力向上を果たすことが出来たと評価している。
腹筋、背筋を含む筋力・敏捷性・心拍機能の大幅向上・内臓強化 等々、基礎体力は大幅に up したと 自負している。(ボール運動・マット・鉄棒・跳び箱 等の個々の運動についての評価は、またの機会とする。)

④基礎体力の向上に関して 縄跳び

当園では、年中・年長を中心として、縄跳びに取り組んでいる。意欲を高めるために具体的に目標を設定し、段階毎にリボンを縄に結び、達成感・物事を成し遂げた喜び・充実感を持たせている。

- ・前跳び 20 回→赤リボン
- ・前跳び 40 回→2 個目の赤リボン
- ・後跳び 20 回→黄緑リボン
- ・後跳び 40 回→2 個目の黄緑リボン
- ・片足跳び 10 回交代の 30 回→水色リボン
- ・片足跳び 5 回交代の 30 回→黒リボン
- ・あや跳び 20 回→水玉リボン
- ・あや跳び 50 回→2 個目の水玉リボン
- ・後あや跳び 20 回→青リボン

上記④は走ることを中心とした組み立てであるが、この縄跳びも全身運動であり、敏捷性・バランス感覚・筋力の強化以外に、内臓強化にも優れている。

基礎体力の向上という所期の目的を、十分に達成出来たと評価している。

⑤安全対策

- ・玄関を含め 2 カ所の出入り口に、監視ビデオカメラ
 - ・電動門扉、電動シャッター、フェンスにより、園地は外部と完全に遮断されている
 - ・玄関インターホン
 - ・異常事態発生の場合は、押しボタンにより瞬時に警備会社に連絡するシステムがあり、即警察に連絡が届く
 - ・園地内の 8 カ所に、大型の非常警報装置を設置
 - ・各教室にも携帯用の非常警報装置、催涙スプレー、長刀を設置
- 上記の機器設置に基づいて、緊急時の先生のなすべき行動を明確化し、園児に対しては避難訓練等を適正に行っている。

⑥その他

- ・園児に関するきめ細かな情報交換
 - ・先生の資質を高める園内研修　そして研究授業（本年も 18 回の研究授業の実施）
等についての評価は、平成 20 年・21 年と同様ですので、そちらをご覧ください。
- なお
- ・食事指導
 - ・遠足　お楽しみ鍛錬登山　などの園外保育
 - ・異なる学年や入園前の芽生えさんとの交流
 - ・特別支援教育
 - ・授業参観や教育講演会などにおける保護者との関わり
 - ・お母さんのサークル活動（コーラス・絵本）
 - ・子育て支援（教育講演・教育相談・長時間の預かり保育・
就園前 2 歳児の芽生え教室）
- 等に関する評価は、次年度以降と致します。

IV. 最後に

これら 平成 22 年度 学校評価（自己評価）を、学校関係者委員会に提出し、学校関係者の評価を得たいと考えている。

平成 22 年度 学校評価（学校関係者評価）

I. 最初に

今回、学校関係者委員会に提出された本 22 年度の学校評価（自己評価）は、今までに取り上げられなかった項目に関してでした。

各項目につき、自己評価が適正であるかどうかの議論をし、学校関係者委員会としての下記の評価に至りました。ここに学校関係者評価を提出致します。

II. 本園の教育目標の確認 の検証

自己評価の記載通りだと、実感しています。

単に教育目標として掲げられているだけでなく、教育の中で実践され、目標に沿った成果を上げてくれている（下さっている）と感じています。昨年のアンケートにもありましたように、保護者の大多数の声だと思っております。

また地域の小学校においても、安松幼稚園からの入学生は一味も二味も違うということ、先生からもよく耳にします。

在園児や卒園児を観るとき、教育目標を確実に達成されていると評価致します。

III. 評価項目と 取り組み状況・達成度などの評価 の検証

①園児の健康管理

②教職員の健康管理

記載通りであると評価致します。

「安松幼稚園に入園すると心身ともに強くなる」ということを実感している保護者が多いということ、付記したいと思います。

③全教室・遊戯室に 空気清浄機を設置

記載通りであると評価致します。

④基礎体力の向上に関して 園庭でのサーキット運動 末広公園での持久走 などを実施 & 縄跳び

●他園のお母さんや、子供が小学入学後によく聞く話を数点紹介致します。

- ・年長さんで 50m をまっすぐに走り抜くのが普通と思ってたらあかんよ。幼稚園の子では、50m を全力疾走するのは、なかなか難しいんやで。
- ・安松の時の末広公園の持久走では、うちの子は下から 1/5 ぐらいやったんやけど、この 2 月の〇〇小学校の持久走では 10 番内に入ったわ。
- ・小学校での運動会のリレーの代表には、安松幼稚園出身の子がどつと選ばれるわ。 等々 こういう話を数多く聞きます。

●それと共に、次のことも記すべきと考えました。

自己評価では、縄跳びではリボンをつけてもらって具体的な目標を持つてるとの記述しかありませんでしたが、同様に、持久走では 1 周毎にゴムを手に巻いてもらうので自分の走っている周数が分かる。50m 走でも、年に 2 回タイムを取り自分の進捗度が分かる 等々。子供にとって具体的な目標があるので、挑戦しよう・頑張ろうという「やる気」「積極性」が基礎体力と共に、大きく育っています。強い心の成長と基礎体力の向上に関して、高く評価致します。

⑤安全対策

自己評価は適切です。

IV. 最後に

自己評価を適切と認めます。
今後も、現在の安松幼稚園の有り様をぶれることなく貫いてほしいと
存じます。